

医学教育分野別評価 高知大学医学部医学科 年次報告書

令和7年度

医学教育分野別評価の受審 2023（令和5）年度

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.34

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.36

はじめに

高知大学医学部医学科は、「医学教育分野別評価基準日本版Ver. 2.36」に基づき、令和6年度も医学教育プログラムの継続的改善に取り組んだ。「医学科の使命と卒業時の達成指針」は国際的健康・医療の観点や医学研究に関する学修成果を明確化すべく見直され、ディプロマ・ポリシーとの1対1対応がなされた。高知県医師会副会長や糖尿病患者会代表を医学教育自己点検評価委員会の委員に招き、幅広い意見を聴取する体制を強化した。令和8年度開始予定の新カリキュラムには教育プログラム評価結果を反映させるべく、チーム基盤型学修（TBL）を継続し、すべての学生が医学研究手法や予防医学を体験できるようカリキュラムの調整を進めている。学生評価では、令和7年度以降に「先端医療フェロー」採用を通じ MiniCEX 評価の拡充を図る見込みである。多様な人材受け入れのため、国際バカロレア選抜の導入や学士・準学士編入の入学時期変更を実施した。更に、学生の行動規範を策定する予定である。教員の選考における教育能力評価方針の策定や配置の適正化を検討中である。臨床実習の質向上のため調査を進め、診療端末の利用を充実させた。医学教育IR評価室によるデータ分析を拡充し、評価結果をカリキュラムに反映するPDCAサイクルを確立している。学生主体の医学教育学生部会（BRIDGE）の活動や黒潮医療人養成プロジェクトも学内外で高く評価され、継続支援されている。

1. 使命と学修成果

令和6年度に「医学科の使命と卒業時の達成指針」を改訂した。これにより、国際的健康や医療の観点、医学研究に関する具体的な学修成果が明確化された。また、医学教育自己点検評価委員会に、高知県医師会副会長や糖尿病患者会の代表を学外委員として招き、幅広い関係者の意見を聴取する体制を強化している。全学的な見直し方針に基づき、大学の「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」を含む3ポリシーも全て改訂・承認され、教育の質向上への取り組みを継続している。

1.1 使命

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 使命を明確に定め、卒業時の達成指針を具体的に示している。

改善のための助言

- ・ 大学の構成者全員が使命をより確実に理解できるよう工夫すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 使命に国際的健康、医療の観点を包含することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 「医学科の使命と卒業時の達成指針」の見直しが医学科カリキュラム委員会に委託され、学生を含めたワークショップ形式で見直し作業が完了し（資料1）、「国際的健康や医療の観点」に関する具体的な学修成果が明示された（資料2）。

改善状況を示す根拠資料

- ・ 資料1：令和6年度第2回医学教育自己点検評価委員会_議事要録
- ・ 資料2：高知大学医学部医学科の使命と卒業時の達成指針

1. 2 大学の自律性および教育・研究の自由

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 2014年に学生の自主組織「BRIDGE」が結成され、「BRIDGE」に所属する学生が「カリキュラム検討ワーキンググループ」に加わってカリキュラム改訂作業に参画している。
- ・ 「BRIDGE」はカリキュラムに関する調査を行い、カリキュラムへの提言を行うのみならず、学会発表を行っていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 学生時代にBRIDGEを立ち上げた現教員が中心となり、学生と定期的にミーティングを行い、自主的な活動を支援しており、様々な学年の学生が参加し、メンバーも増え（資料3）、学生主体で医学教育改善活動を行っており、学内から高い評価を受けている。

改善状況を示す根拠資料

- ・ 資料3：BRIDGE構成員

1. 3 学修成果

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 3項目の卒業時の達成指針を定め、その上に5領域の修得すべき資質と能力を具体的に示している。

改善のための助言

- ・ 臨床実習だけでなく、低学年から学生が学生同士、教員、医療従事者、患者、およびその家族を尊重し適切な行動をとることを確実に修得するよう行動規範などに明示すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 「医学部学生のアンプロフェッショナルな行為にかかる警告に関する取扱い（案）」の策定について医学部学務委員会において審議され、ルール策定の承認が得られており（資料4）、令和7年度以降、学生と教職員の議論の場を設けて、指導されるべき行為について検討していくことになっている（資料5）。

改善状況を示す根拠資料

- ・ 資料4：令和6年度第18回学務委員会_議事要録
- ・ 資料5：医学部学生のアンプロフェッショナルな行為にかかる警告に関する取扱い（案）

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 卒業時の達成指針が見直され、国際的な指針を持って地域医療と公衆衛生の諸問題を見い出すことを定めている。
- ・ 卒業時の達成指針と卒後研修終了時の達成目標が関連づけられている。

改善のための示唆

- ・ 医学研究に関して目指す学修成果をより具体的に示すことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・「医学科の使命と卒業時の達成指針（医学科）」の見直しが医学科カリキュラム委員会に委託され、学生を含めたワークショップ形式で見直し作業が完了し（資料1）、「医学研究」に関する具体的な学修成果が明示された（資料2）。

改善状況を示す根拠資料

- ・資料1：令和6年度第2回医学教育自己点検評価委員会_議事要録
- ・資料2：高知大学医学部医学科の使命と卒業時の達成指針

1. 4 使命と成果策定への参画

基本的水準：適合

特記すべき良い点（特色）

- ・なし

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・なし

改善のための示唆

- ・使命と目標とする学修成果を策定するために、患者代表や地域医療の代表など、より広い範囲の教育の関係者からの意見を聴取することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・医学教育自己点検評価委員会に令和6年10月より高知県医師会副会長、同年12月より糖尿病患者会の代表を学外委員として招き、使命と学修成果について意見を聴取する体制が整備された（資料6）。医学教育プログラム評価委員会および医学科カリキュラム委員会への患者代表の委員参加も検討されており、関係者の意見を教育に反映させる体制構築を進めている。

改善状況を示す根拠資料

- ・資料6：医学教育自己点検評価委員会_委員名簿（R6.12.10現在）

2. 教育プログラム

医学教育プログラム評価委員会による評価に基づき、継続的改善を推進している。新カリキュラム策定では評価結果を確実に反映させ、チーム基盤型学修（TBL）を継続し、すべての学生に医学研究の手法を教育するべく先端医療学コースと統合医学コースの見直し

を行っている。また、学外実習施設の評価を検討している。

2. 1 教育プログラムの構成

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 1年次から3年次までチーム基盤型学修（TBL）を積極的に導入し、ピア評価を活用しながら学生の学修意欲を刺激していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 新カリキュラムにおいても、TBL等の手法を用いたアクティブ・ラーニング実践授業は継続する予定であるが、新たな科目の導入については現時点で具体的な見通しは立っていない。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

2. 2 科学的方法

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 選択必修の「先端医療学コース」では、3年間それぞれの研究室で継続的に研究活動を実践し、学会発表や論文執筆を行っている。

改善のための助言

- ・ すべての学生に医学研究の手法を教育すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 新カリキュラムにおいて先端医療学コースは継続され、基礎医学系科目の実習や統合医学Ⅱ～Ⅳにおいて医学研究の手法を経験できるように検討中である。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 「先端医療学コース」では、配属先の研究室が実際に行っている先端的な研究に学生が携わっている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

2. 3 基礎医学

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

2. 4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 2023年度に行動科学について定義を行い、統括する「行動科学教育部会」が発足した。この部会を中心に系統的な行動科学教育のカリキュラムを策定し、実践すべきである。
- ・ 臨床実習において医療倫理教育を確実に実践すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 行動科学教育部会が担当し、新カリキュラムでも関連科目は継続され、シラバス作成時に体系的に学べるよう調整を進める予定である。看護学科との相互協力の可能性も検討されている。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 科学的、技術的、臨床的進歩に応じて、行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学に関するカリキュラムの調整を行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 行動科学教育部会が担当し、新カリキュラムでも関連科目は継続され、シラバス作成時に体系的に学べるよう調整を進める予定である。看護学科との相互協力の可能性も検討されている。

改善状況を示す根拠資料

2. 5 臨床医学と技能

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 臨床教育を1年次から開始し、計画的に実践している。
- ・ 和歌山県立医科大学、三重大大学と連携したポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業「黒潮医療人養成プロジェクト」において、学生の相互派遣によるクリニカル・クラークシップを実施している。

改善のための助言

- ・ 学生の経験した症例の疾患分類や症例数、経験した医行為などを集積し、学生が十分な臨床経験を積めるようにすべきである。
- ・ すべての学生が健康増進と予防医学を体験すべきである。
- ・ すべての学生が主要な診療科で十分な期間、診療参加型臨床実習を行うべきである。
- ・ 診療参加型臨床実習において学生の診療録記載を充実させるべきである。
- ・ 臨床実習において、EBMを確実に実践すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・実習病院における疾患分類や症例数は年報等で確認されているが、学生が実際に適切に経験できているかを把握するための調査を検討中である。学内臨床実習においては、一部で実習内容が十分ではない事例が指摘されており、実態調査を行う予定である。
- ・予防医学は現在も地域医療実習において経験しているが、新カリキュラムでは、各診療科の臨床実習においても経験できるように調整される予定である。
- ・学生から、学外病院では多くの手技に触れる機会があるとの声も聞かれており、大学病院での実習内容の改善が求められている。
- ・新カリキュラムの方針に従い、臨床実習の充実について検討が必要である。
- ・「黒潮医療人養成プロジェクト」において、令和6年度は高知大学から5名の臨床実習生を派遣し（和歌山県4名、三重県1名）、高知県内の実習施設には他大学の実習生4名を受け入れ、交流の双方向化が進んでいる（資料7）。また令和6年度は臨床体験実習Ⅰ～Ⅲのすべてのコースにおいて、高知県立あき総合病院および高知県立幡多けんみん病院での実習を可能としたことにより、1～3年次の履修者数は、令和5年度の26名から55名と大幅に増加し、学生の高い満足度と実習に対する良好な評価が確認されている（資料8）（資料9）。

改善状況を示す根拠資料

- ・資料7：長期滞在型クリニカル・クラークシップにおける学生相互派遣・交流
- ・資料8：令和6年度事業報告書一部抜粋（体験実習）
- ・資料9：令和6年度臨床体験実習Ⅲ報告会 学生発表スライド、事後アンケート結果

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・社会や医療制度上必要となる課題への対応として、「老年病学」、「地域医療学」の教育を行っている。
- ・「救急医学総論」や救急部の実習において、南海トラフ地震による地震・津波災害への対策に関する教育を行っていることは評価できる。
- ・1年次から徐々に患者と接する実習を各学年で行っている。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

2. 6 教育プログラムの構造、構成と教育期間

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 基礎医学系教員、社会医学系教員、臨床医学系教員が十分に協議し、水平的統合教育や垂直的統合教育を推進することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 新カリキュラムにおいて新たな水平的統合は予定されていないが、既存の水平的統合科目は継続される。科目上での垂直的統合は困難なものの、シラバスを通じて臨床系科目における基礎医学教員の活用を積極的に実施していく予定である。

改善状況を示す根拠資料

2. 7 教育プログラム管理

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 医学科カリキュラム委員会の構成委員には、教員と学生の代表者が含まれ、学生代表が積極的に協議に参画している。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 医学科カリキュラム委員会を中心にして、教育カリキュラムの改善を計画し、確実に実施することが期待される。
- ・ 医学科カリキュラム委員会に広い範囲の教育の関係者の代表を含むことが望まれ

る。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラム策定作業において、教育プログラム評価の結果を確実に反映させることを目指している。
- ・今後、医学科カリキュラム委員会に患者代表者や、学内共同教育研究施設「学び創造センター」教員に外部委員として参加してもらうことを検討している。

改善状況を示す根拠資料

2. 8 臨床実践と医療制度の連携

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・なし

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・なし

改善のための示唆

- ・卒業生の働く環境から収集した情報をもとに、教育プログラムを適切に改良することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・全学が実施している卒業生調査において、医学科卒業生に対する質問項目に、働く環境からの情報を収集できるような項目の追加を検討している。

改善状況を示す根拠資料

3. 学生の評価

評価方法と評価基準のシラバスでの明確化や、臨床実習における評価の充実が課題である。令和7年度より「先端医療フェロー」採用を通じMiniCEX評価の拡充を図る予定である。新カリキュラム策定と同時に、評価のあり方や試験方法の再検討を進める方針である。

3. 1 評価方法

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 学生の評価について、原理、方法、合格基準をシラバスに明示すべきである。
- ・ 技能および態度の評価について、評価方法や評価基準を明確にして示すべきである。
- ・ 臨床実習においてMiniCEXや360度評価など、Workplace-based assessmentを充実させるべきである。
- ・ 外部の専門家により評価をさらに吟味すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 各科目のシラバスにおけるディプロマポリシー（10+1 の能力）と卒業時の達成指針との紐づけを実施し、科目と達成指針の関係を明確化した（資料10）。これにより、学生の達成度フィードバックや教員・学生間のギャップ分析が可能になると期待されている。新カリキュラムの枠組みが確定次第、カリキュラムマップや卒業時の達成指針との関連を精査する予定であり、シラバスの記載は全学共通フォーマットのため修正が困難であるが、記載内容の精査を検討している。
- ・ 技能および態度の評価については、今後検討を要する事項である。
- ・ MiniCEX 評価の普及活動は一部の診療科に留まっているが、令和7年度からは「先端医療フェロー」が4名採用され、電子カルテ利用促進など、よりきめ細かい指導（MiniCEX の拡張を含む）が行われる予定である。
- ・ 学内共同教育研究施設「学び創造センター」の教員に外部委員を依頼することを検討している。

改善状況を示す根拠資料

- ・ 資料10：高知大学医学部ディプロマ・ポリシー

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 手書きでリソースペーパーを作成させ、試験への持ち込みを許可する「open paper 方式」を導入し、暗記に頼らない診断能力評価を行っている。

改善のための示唆

- ・ 各科目における評価方法の信頼性と妥当性について十分に吟味することが望まれる。
- ・ 臨床実習におけるルーブリック評価の在り方を検証し、評価の質を高めることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 新カリキュラム確定後、評価のあり方について検討を行う予定であり、特に臨床実習における各科の評価では、形成的評価としてルーブリックの見直しを検討する。

改善状況を示す根拠資料

3. 2 評価と学修との関連

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 進級時と卒業時に達成すべき学修成果について、知識・技能・態度を適切に評価するための基準を定め実践すべきである。
- ・ 形成的評価と総括的評価の適切な比重を定め、学生の学修と教育との進捗を確認すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ マイルストーンの設定は今後検討する予定である。
- ・ 新カリキュラム確定後、評価のあり方について検討を行う予定であり、特に臨床実習における各科の評価では、形成的評価としてルーブリックの見直しを検討する。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 学生自身と指導教員が成績を確認できるe-ポートフォリオを用いて、評価結果のフィードバックを行っている。

改善のための示唆

- ・ 医学科カリキュラム委員会の活動を促進し、適切な試験の回数や方法を定めることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学科カリキュラム委員会と学務委員会が連携し、今後、試験のあり方について検討を進める予定である。

改善状況を示す根拠資料

4. 学生

国際バカロレア選抜の導入や学士・準学士編入学試験の実施時期の変更を実施し、幅広い人材を受け入れている。学生へのカウンセリングや学修支援が強化され、アドバイザー教員制の改善や国家試験対策等を実施している。また、学生は使命の策定や医学科カリキュラム委員会に参画し、自主組織「BRIDGE」の活動を通じ教育改善に貢献している。自治体関連組織との協議で入学者数や資質を調整している。

4. 1 入学方針と入学選抜

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 高知県内で地域医療に従事する医師の養成を目的とした特色ある入試制度、選考方式を策定し、履行していることは評価できる。
- ・ 身体に不自由がある学生の受け入れについて、その方針が募集要項に明記され、入学後の修学支援が実施されている。
- ・ 総合型選抜（AO入試）と学士・準学士入学（研究医特別選抜）において「コンピテンシー面接」が導入されている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 卒業時に期待される能力との関連を明確に示した多様な選抜方式を採用し、実施している。
- ・ アドミッション・ポリシーは各選抜方式において定期的に見直されている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 従来の入学選抜に加え、令和5年度から国際バカロレア選抜を開始し、多様な能力を持つ人材の入学に繋がっている。また、学士・準学士編入の入学時期を2年次から1年次の2学期に変更し、令和9年度から適用となる。学習指導要領の改訂に伴い、全学的なポリシー見直しと合わせて、医学科のアドミッション・ポリシーも改訂された（資料11）。

改善状況を示す根拠資料

- ・ 資料11：高知大学医学部アドミッション・ポリシー（2027年度入試用）

4. 2 学生の受け入れ

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・自治体関連組織の関係者が医学教育プログラム評価委員会に参加し審議することで、入学者数や資質について協議し、調整している。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

4. 3 学生のカウンセリングと支援

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・アドバイザー教員による面談、保健管理センター医学部分室でのカウンセリング、医学教育創造センターでの学修支援、家庭医療学講座および高知地域医療支援センターによるキャリアカウンセリングの4つの制度があり、それぞれの機能を適切に果たしている。

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・アドバイザー教員制度による支援の他、医学教育創造センターが医学科学生の修学状況をモニタリングし、学修支援を行っている。

改善のための示唆

- ・必要な対応を適切に取れるよう、学生へのカウンセリングをさらに充実することが期待される。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・医学科に選択アドバイザー制が試験的に導入され、令和6年11月より申請を開始し（資料12）（資料13）（資料14）（資料15）、令和7年度から申請が反映され

ている。3年後または申請学生の割合が15%を超えた時点で有効性の評価が行われる予定である。医学教育IR室による分析の結果、2年次留年生の医師国家試験合格率が低いことなどが判明し、留年経験のある学生へのインタビューも実施され（資料16）、留年後の面談義務化が順次開始されている。先行履修制度の条件撤廃については引き続き審議が継続される。学習支援および国家試験対策支援として、学生からの求めに応じて面談が実施されており、支援件数が増加している。国家試験対策のための講義も実施している。

改善状況を示す根拠資料

- ・資料12：令和6年度第7回学務委員会_議事要録
- ・資料13：医学科アドバイザー選択制の試験的導入について
- ・資料14：令和6年度第11回学務委員会_議事要録
- ・資料15：医学科 選択アドバイザー制 学生アナウンス文書
- ・資料16：学生インタビュー1次報告

4. 4 学生の参加

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・医学科の使命と卒業時の達成指針の策定に学生が関与している。
- ・教育プログラムの策定・管理・評価・その他、学生に関する諸事項を審議する委員会に学生の代表が参加し、適切に議論に加わっている。

改善のための助言

- ・2023年5月に規則が改訂された医学部学務委員会に学生が実質的に参加し、適切に議論に加わるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・「BRIDGE」の学会発表などの活動を支援している。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・学生時代にBRIDGEを立ち上げた現教員が中心となり、学生と定期的にミーティングを行い、自主的な活動を支援しており、様々な学年の学生が参加し、メンバーも増え（資料3）、学生主体で医学教育改善活動を行っており、高い評価を受けている。

改善状況を示す根拠資料

- ・資料3：BRIDGE構成員

5. 教員

教員の客観的な教育能力評価方針策定と教員配置の適正化を検討中である。教員に対する能力開発（FD）支援体制が整備されたが、参加率のさらなる向上を目指してコンテンツ拡充を計画している。

5.1 募集と選抜方針

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・なし

改善のための助言

- ・教育職員の選考に際し、客観的な教育能力の評価方針を策定し履行すべきである。
- ・教養科目、基礎医学の教育を行うに適正な教員のバランスを検討し配置すべきである。
- ・職位を含めた教員の男女間のバランスに配慮すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・他大学の状況を踏まえ、教員の選考基準における教育能力評価方針の策定について検討中である。
- ・教養科目、基礎医学の教育を行うに適正な教員のバランスについては、第4期中期目標期間の教員人事基本方針に基づき、教育体制の維持・強化を目的とした教員配置を検討中である。また、ある基礎医学の教授の後任補充人事において、医学部の使命と卒業時の達成指針達成のため、適切な教員配置が行われた。教養理系講義の改善も時間をかけて行われる予定である。
- ・職位を含めた教員の男女間のバランスについては、他大学の状況を踏まえ、対応について検討中である。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・高知県の医師不足地域に対するプライマリ・ケア医の養成を目的とした家庭医学講座（寄附講座）の設置や、災害・救急医療支援プロジェクト（寄附プロジェクト）の立ち上げ等を行っていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

5. 2 教員の活動と能力開発

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 教員に対する能力開発（FD）に関する指針が設定され、オンラインによる講習環境など教員に対する支援体制を整備している。

改善のための助言

- ・ FD への教員の参加率を高めるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 令和6年度はFD基礎講習が実施できず、発展講習は一部実施に留まったが、今後は、複数年度にわたって視聴できるコンテンツを増やす方針である。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 教育、研究、診療の配分比率と活動内容とを組織的にチェックし評価・フィードバックを行っている。
- ・ 教員不足への対応として、PBLからTBLへの移行や、契約職員、非常勤教員の採用等を行い、教育の効率化、人的資源の有効活用に取り組んでいる。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

6. 教育資源

実習棟やスキルスラボ等の施設・設備を整備し、安全な学習環境を提供している。学生は教務・病院情報システム等のICTを活用し、自己学習や患者管理を行っている。臨床実習では附属病院や関連施設が充実する一方、症例モニタリングや学内実習内容の改善が課題である。医学研究には「先端医療学コース」が貢献している。また、医学教育創造センターが教育専門家を提供し、国内外の教育機関との交流も推進されている。

6. 1 施設・設備

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・実習棟・スキルスラボ学習室など、施設・設備を整備している。
- ・安全な学修環境を整備するため、災害対策教育、教職員および学生に対する心肺蘇生実習、患者安全に関する講習会などの学修環境が整えられている。

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・自習室の改修、バリアフリー化、新病棟の増設など、定期的に学修環境を改善している。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・学生の課外活動施設にAEDが設置されていなかったため、課外活動中の学生の安全を守るため医学部長裁量経費で新たに2台のAEDを購入し、体育館及びクラブハウスに設置した（資料17）。

改善状況を示す根拠資料

- ・資料17：学内AEDの設置状況

6. 2 臨床実習の資源

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・学生が適切な臨床経験を積めるように医学部附属病院、関連教育病院、臨床実習協力施設が充実している。

改善のための助言

- ・学生が経験した患者の疾患分類と症例数などをモニタし、学生が適切な臨床経験を積めるように教育資源を十分に確保すべきである。
- ・学外の臨床実習施設の指導者を対象としたFDなどで、十分な指導力をもつ指導者を確保すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・実習病院における疾患分類や症例数は年報等で確認されているが、学生が実際に適切に経験できているかを把握するための調査を検討中である。
- ・新カリキュラムの方針に従い、臨床実習の実習内容の現状把握と改善に向けた検討を行う必要がある。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 患者や地域住民の要請という視点での、学外実習施設の評価を実施することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 卒業生調査において、勤務病院の患者・地域住民の要請と医学教育とのギャップに関する質問項目を追加検討しており、学外実習施設における研修データ収集を計画している。また、学外実習施設を利用する患者へのアンケート調査も検討中である。新カリキュラムの方針に従い、臨床実習の実習内容の現状把握と改善に向けた検討を行う必要がある。

改善状況を示す根拠資料

6. 3 情報通信技術

基本的水準： 適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 情報セキュリティ対策について、全学的に統一した基準を「高知大学情報セキュリティポリシー」として策定している。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 学生が教務情報システム(KULAS)、病院情報システム(IMIS)、大学共通ネットワークなどのICTを活用し、自己学習、情報入手、患者管理などに利用している。

改善のための示唆

- ・ 担当患者のデータと医療情報システムを学生が適切に利用できるよう、診療端末のさらなる整備が望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 予算確保を検討する必要があるが、指導医の許可のもと学生が担当患者の手術動

画を視聴できるようにするなど、利用内容の一部充実を図る予定である。

改善状況を示す根拠資料

6. 4 医学研究と学識

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 医学研究に必要な基礎学力と課題探求能力を涵養するために、2年次からの選択必修科目「先端医療学コース」を設けている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 先端医療学コースで基礎・臨床医学研究が現行の教育に反映されている。
- ・ 学生の自主組織「BRIDGE」で、医学教育研究に携わる環境が整備されている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

6. 5 教育専門家

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 医学部に「医学教育創造センター」が設置され、常に教育専門家へアクセスが可能となっている。
- ・ カリキュラム開発を行う委員会に医学教育専門家が委員として加わり、カリキュラム作成への提言、評価方法の開発などに参画している。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ TBLにおけるカリキュラム開発、教育技法および評価方法について、教育研究成果として公表している。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

6. 6 教育の交流

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ TBLワークショップやマルチメディア教材開発に関して、国内外の他教育機関と協力している。
- ・ ハワイ大学医学部の臨床実習に参加した場合の単位認定が実施されている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 教職員や学生の海外交流に関して奨学金の支援制度があり、実施されている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

7. 教育プログラム評価

医学教育IR室によるデータ分析を拡充し、評価結果を新カリキュラムに確実に反映させる方針である。教員・学生からのフィードバックは、教員評価システムやアンケートの定期実施、回収率向上を通じて強化を検討している。学生・卒業生の実績については、新旧カリキュラムの比較分析や継続的なデータ収集・分析を予定し、卒業生調査に勤務環境からの情報収集項目追加を検討する。また、患者代表の医学教育プログラム評価委員会への参加も検討されている。

7. 1 教育プログラムのモニタと評価

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 医学教育プログラム評価委員会と医学教育IR室の責務と関連を明確にしたうえで、教育プログラム評価を行うべきである。
- ・ 医学教育IR室で分析したデータをもとに教育プログラムを評価する仕組みを確立すべきである。
- ・ 教育プログラム評価の結果をカリキュラムに確実に反映させるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ これまでのデータ評価・解析を拡充し、課題の掘り起こしを試みている。セルフアセスメントとGPSアカデミックの評価は良好であり、引き続きデータ活用を進めていく方針である。アンケート回収率の向上に向けた工夫も検討されている。
- ・ 新カリキュラム策定作業において、教育プログラム評価の結果を確実に反映させることを目指している。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ アンケートだけでなく、教育プログラムを包括的に評価することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 各科目のシラバスにおけるディプロマポリシー（10+1 の能力）と卒業時の達成指針との紐づけを実施し、科目と達成指針の関係を明確化した（資料1）（資料2）。これにより、学生の達成度フィードバックや教員・学生間のギャップ分析が可能になると期待されている。

改善状況を示す根拠資料

- ・資料1：令和6年度第2回医学教育自己点検評価委員会_議事要録
- ・資料2：高知大学医学部医学科の使命と卒業時の達成指針

7.2 教員と学生からのフィードバック

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・なし

改善のための助言

- ・系統的に教員と学生からフィードバックを求めて分析し、確実に対応すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・教員評価システムによる教員からのフィードバックの実施の検討、および臨床実習や科目担当教員に関するアンケートの定期実施を検討しており、アンケート回収率向上のための工夫も進められている。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・新しい委員会組織のもと、教育プログラム開発の準備を進めている。

改善のための示唆

- ・教員と学生からのフィードバックの分析結果をもとに、教育プログラムを開発することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・教員評価システムによる教員からのフィードバックの実施の検討、および臨床実習や科目担当教員に関するアンケートの定期実施を検討しており、アンケート回収率向上のための工夫も進められている。

改善状況を示す根拠資料

7.3 学生と卒業生の実績

基本的水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・地域医療に貢献するという使命に関連して研修医数を分析し、高知県内で臨床研修を行う卒業生が増加している。

改善のための助言

- ・旧カリキュラムと新カリキュラムに関連して、学生と卒業生の実績を分析すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 令和8年度から導入される新カリキュラムと現行カリキュラムの比較分析を予定している。

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 学生の選抜について分析し、入学試験委員会にフィードバックしている。

改善のための示唆

- ・ 背景と状況についてはさらなる分析が望まれる。
- ・ 学生の実績を分析し、カリキュラム立案と学生カウンセリングに責任がある委員会へフィードバックすることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ セルフアセスメント、GPSアカデミックの各評価において良好な結果が得られているが、国際バカロレア選抜の学生のパフォーマンスが高い傾向など、データが少ないため継続的なデータ収集と分析が必要と認識している。
- ・ 医学教育プログラム評価委員会で評価された内容は、それぞれの項目について責任のある委員会へ毎年度フィードバックしている（資料18）（資料19）。

改善状況を示す根拠資料

- ・ 資料18：令和6年度第1回医学教育プログラム評価委員会_議事要録
- ・ 資料19：令和6年度第1回医学教育プログラム評価委員会_各委員会等へのフィードバック

7. 4 教育の関係者の関与

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 医学教育プログラム評価委員会を設置するにあたり、教育に関わる主要な構成者を含めた。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 医学教育IR室の分析データをウェブサイトで公表している。

改善のための示唆

- ・ 患者代表を含めた広い範囲の教育の関係者に卒業生の実績やカリキュラムに関するフィードバックを求めることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育プログラム評価委員会および医学科カリキュラム委員会への患者代表の委員参加を検討しており、関係者の意見を教育に反映させる体制構築を進めている。卒業生調査において、勤務病院の患者・地域住民の要請と医学教育とのギャップに関する質問項目を追加検討しており、学外実習施設における研修データ収集を計画している。また、学外実習施設を利用する患者へのアンケート調査も検討中である。

改善状況を示す根拠資料

8. 統轄および管理運営

組織機能の明確化や予算配分、地域連携を特色としている。今後は、教学における執行部の評価を、医学部の使命と学修成果に照らして行う仕組みの検討を進め、教育資源やカリキュラムに関するリーダーシップ発揮状況を確認・評価する方針である。また、他大学の教授会における議事要録の共有方法を参考に、統轄業務とその決定事項の透明性を高める予定である。家庭医療学講座など複数の寄附講座・プロジェクトの設置や、地域保健医療部門との建設的な交流も高く評価されている。

8. 1 統轄

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 医学部の統轄する組織と機能が、大学内での位置づけを含み、規定されている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 統轄業務とその決定事項について透明性を高めることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・他大学の教授会における議事要録の共有方法を確認しており、その結果に基づき検討を進める予定である。

改善状況を示す根拠資料

8. 2 教学における執行部

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・医学教育プログラムの策定と管理に関連する委員会と医学部教授会、執行部の責務が明文化されている。

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・医学部長および医療学系長の管理職としての業務評価を毎年実施している。

改善のための示唆

- ・教学における執行部の評価を、医学部の使命と学修成果に照合して行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・不在となっていた特定の基礎医学の教授の後任補充人事は、医学部の使命と学修成果に照らして執行部が適切に責務を果たしたと評価されており、今後、教育資源やカリキュラム等に関して、各執行部がリーダーシップを発揮できているかを確認・評価する仕組みの検討を進める。

改善状況を示す根拠資料

8. 3 教育予算と資源配分

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・全学から医学部および附属病院に配分された予算については、執行する権限を有しており、責任と権限は示されている。

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 3つの寄附講座（家庭医療学講座、児童青年期精神医学講座、医療×VR学講座）、2つの寄附プロジェクト（高知大学医学部災害・救急医療支援プロジェクト、高知県臨床研究フェローシッププログラムプロジェクト）を受け入れている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

8. 4 事務と運営

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 管理運営の質保証のため、高知大学内部質保証の基本方針および高知大学内部質保証実施要項を定め、内部質保証における自己評価報告書を公表している。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

8. 5 保健医療部門との交流

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 高知県や県内自治体の保健医療部門や保健医療関連部門と建設的な交流を持ち、寄附講座や寄附プロジェクトが実現されるなど医学教育に寄与している。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 自治体や地域との連携行事では学生も関わりながら学修に活かす取り組みが行われている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

改善状況を示す根拠資料

9. 継続的改良

医学教育IR室によるデータ分析結果を基に、医学教育プログラム評価委員会から各委員会へのフィードバックを実施して、改善のためのPDCAサイクルが確立している。今後もこのサイクルの確実な実行と改良項目の積み上げを継続していく方針である。

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 教育プログラムの教育課程、構造、内容、学修成果/コンピテンシー、評価ならびに学修環境を定期的に見直し、改善する体制を構築している。

改善のための助言

- ・ 現行の体制で今後も教育プログラムの教育課程、構造、内容、学修成果/コンピテンシー、評価ならびに学修環境を継続的に改良すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育IR評価室によるデータ集計・分析結果を、医学教育プログラム評価委員会を起点として各委員会にフィードバックし、改善を促すPDCAサイクルが確立されており（資料20）、このサイクルの確実な実行と改良項目の積み上げを継続していく方針である。

改善状況を示す根拠資料

- ・ 資料20：教育プログラムの実践と継続的改良の体制図

質的向上のための水準： 評価を実施せず